



KUMAMOTO

GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin

Kumamoto green rotary club district 2720 rotary international




2022～
2023年度
テーマ

国際ロータリー

「IMAGINE ROTARY」 R.I. 会長 ジェニファー E. ジョーンズ

地区方針

「ロータリーは つながりで あふれている」

R.I. 2720 地区 ガバナー 堀川貴史

熊本グリーンRC

「エブリワン・スマイル・グリーンロータリー」

熊本グリーンRC 会長 田中慎二

■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：田中慎二 ■幹事：宮部康弘 ■会報担当：山下佳介
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

第1455回

令和4年10月17日

2022 - 2023 年度 第11回

【例会】

★コロナウイルス感染防止の為、ロータリーソングは「マスク着用」にて歌唱します。

・ロータリーソング「奉仕の理想」

1. 閉会・点鐘 18:30

2. 食事と交歓

来訪者紹介 (田中慎二 会長)

・卓話者

NHK熊本放送局 局長 渡邊和明氏

会長スピーチ (田中慎二 会長)

会員アンケートから見てきたこと

熊本グリーンロータリーのSWOT分析

こんばんは令和4年10月17日会長の時間となりました。

本日は、先月、先々月の会長の時間を利用して実施させていただきました

画いたしますが、計画策定にあたり

当『熊本グリーンロータリークラブ』のSWOT分析をいたしましたので、本日はこの会員アンケートの回答を基に、お話をした

いと思います。

アンケートを基に、中長期の事業戦略を計の辺りを紹介したいと思います

SWOT分析とは

皆さんも、会社の事業計画などを策定されるときに、会社の現状の分析を実施されると思います

強み (Strengths) ストレngthス

弱み (Weaknesses) ウィークネッス

機会 (Opportunities) オポチュニティース

脅威 (Threats) スリーツ

を先に洗い出し、強みは伸ばし、弱みは改善し、脅威を排除しつつ、機会をとらえた事業計画を作成すると言うものです。

今回は、先のアンケートから見てきたSWOT分析結果を発表したいと思っております。

私の主観も多分に入っていますので、違うところも多々あると思いますが、お聞きいただければと思っております

まず

(強み)

①創設より35年の歴史を有しており、県下のクラブでも老舗である

②チャーターメンバーも多数在籍しており、

グリーンロータリー・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。

というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

卓話予定

10/17 NHK熊本放送局 支局長 渡邊和明氏 (熊本RC会員)

10/24 「熊本グリーンRCのバナーのデザインについて他」

デザイナー 松木良介氏 (熊本RC会員)

10/31 例会休会 (定款第7条第1節に基づき)

11/7 新会員卓話 田代 武 会員

[熊本グリーンRC ホームページアドレス] <http://www.kg-rc.com/>

豊富な知識が蓄積されている

③90代から30代まで幅広い年齢層のメンバーがそろっている

④家族会・クリスマス会など家族の参画も多く、家庭の理解を得ている

⑤若手のメンバーの加入が進みだしている
(弱み)

①例会以外で顔を合わせる機会が無く、会員同士の関係深化に時間が掛る

②女性会員が少ない

③会員の高齢化の進行(毎年1歳上がる)

④例会以外で世代間の交流が少なく、知識、資産の継承などに課題が有る

⑤ロータリー知識に差が出ている
(機会)

①地区からの支援策等が増えている

②今年は地区行事が熊本で開催されることが多い

③他クラブと交流する機会が増えている

④女性の社会進出

⑤新規会員の加入による人脈の広がり
(脅威)

①コロナウイルス等の影響による活動自粛

②クラブ単位、地区単位、RI、会員現象

③戦争・紛争・為替等の物価高による負担等があげられると思います

上記のSWOT分析は、改修したアンケートにいくらか着色した内容です

協力ありがとうございました。

この分析を基に

短期 1年

中期 3年

長期 6年

のクラブ戦略計画を、次期会長、次々年度会長を交え作成したいと思っております

又、その他のアンケートの結果の考察として例会を楽しみにしているメンバーは多いのですが、もともと積極的に参加している方がほとんどです。欠席の多い会員の意見が重要なのかとも感じております。

例会の運営も、スムーズで滞りなく満足という

の多い結果でした。

ご清聴ありがとうございました

幹事報告 (宮部 康弘 幹事)

■ 報告事項 (その他のロータリー関係)

2022年度熊本第3グループ・第4グループ合同IMについて(確認事項)

日にち:令和4年10月23日(日)

・エンドポリオセミナー

(講師:永田壮一パストガバナー)

時間:10:00~11:15

場所:くまもと森都心プラザ 5Fホール

・「ポリオ根絶 街頭募金活動」

内容:ポリオ(小児麻痺)根絶に関わるロータリーの世界的な活動と歴史と現況

時間:13:00~15:00(熊本グリーンRCはサクラマチの桜を植えたあたりが募金場所です。

場所:サクラマチ、サンロード新市街、下通アーケード周辺

※当日は花畑広場で開催の「熊本マチナカ音楽祭」と「藤崎宮秋の例大祭」と連携を図りながら開催。

★当日は「END POLIO

NOW」の赤いTシャツを午前も午後も揃いで着て、国際ロータリーに事業の様子を投稿いたします。

<例会変更・取り止め>

●例会変更

[熊本江南 RC]

・10月12日(水)の例会は、「お月見例会」のため、同日18:30より、青柳にて行います。

[熊本平成 RC]

10月19日(水)例会は、熊本第3・第4GIMのため、10月23日(日)10:00より、熊本森都心プラザホールにて行います。

[熊本北 RC]

11月17日(木)の例会は、熊本グリーンRCと合同例会です。11月14日(月)18:30より

り、ホテルキャッスルにて行います。サイン
メーカーキャップは行いません。

[熊本西 RC]

11月8日(火)の例会は、ニュースカイ4RC合
同例会のため、11月11日(金)18:30よ
り ANA クラウンプラザホテル熊本ニュースカ
イにて行います。サインメーカーキャップは行い
ません。

●例会取り止め

以下の例会は、定款第7条第1節に基づき、取
り止めます。サインメーカーキャップは行いま
せん。

[熊本西 RC] 11月22日(火)

出席報告

(山口 翼 クラブ管理運営(出席担当長))

	会 員 総 数	20名	出席率
10 月 17 日	出席免除会員数	0名	60.00%
	計算上会員数	20名	
	出席会員数	12名	
9 月 19 日	前回の出席会員数	名	祝日休会
	メイクアップ数	名	
	修正出席会員数	名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
な し			

委員会報告

「ロータリーの友」10月号の内容紹介
河島一夫 公共イメージ委員長

スマイル

(荒木一之 クラブ管理運営委員
(スマイル担当))

●田中 慎二 君、宮部 康弘 君

「渡邊様ご来訪、心より歓迎致しま
す。NHKはいつも視聴致しており
ます。本日はよろしくお願い致しま
す。」

●江上 泰弘 君

「NHK熊本放送局 渡邊和明様のご
来訪ありがとうございます。本日の
卓話宜しく願います。朝ドラ録
画して毎日見えています。」

●河島 一夫 君

「本日はNHKの渡邊局長の卓話楽
しみにしています。宜しく願ひ致
します。」

●河野 景治 君

「NHKの渡邊局長のご来訪に感謝
のスマイル申し上げます。本日の卓
話楽しみにしております。宜しく申
し上げます。」

●荒木 一之 君

「渡邊様の御来訪感謝致します。NHKの
「チョコちゃんにしかられる」「ブラ
タモリ」等好きな番組 です。視聴さ
せて頂いています。」

3. 例会プログラム

紹介者：河島一夫会員

卓話者：NHK熊本放送局

局長 渡邊 和明 氏



演 題

「“NHK”の事をご存じですか？」

4. 閉会・点鐘

*例会終了後、「臨時理事会」開催



1. 米山月間の由来

今年も米山月間がやってまいりました。国際ロータリー理事会が指定したロータリーの特別月間とは別に、日本独自の月間テーマとして、毎年10月は米山月間となっています。今回は改めて、その由来についてご紹介します。

1975年8月、米山梅吉翁が逝去した4月28日までの1週間を「米山週間」とすることが決定しました。ある地区ですで行われていた強化活動を全国へ広げ、米山奨学事業を促進することが目的でした。しかし1980年度になると、米山週間は4月から10月1日～7日へと変更されました。その理由はいくつかあります。一つには「ロータリー雑誌週間」が1978年度から4月となり、重なってしまったこと。また、4月では各

クラブへ送付される事業報告書などの資料数字が約1年前のものとなることや、採用されたばかりの奨学生に卓話を依頼することに無理がある、交通機関のストライキが多い、など現実的な支障

があったためです。そして何よりも、東京RCによる米山基金から日本全地区クラブの共同事業とする決議や合意が行われた地区大会が、いずれも10月だったこと、これが大きな理由とされています。1983年からは週間制度が「月間」となり、10月が米山月間として定着し、今に至っています。当会の配布資料などを活用し、米山への理解促進へのご協力をお願いいたします。



2. 米山のルーツを訪ねる



9月24日から25日にかけて、第2790地区(千葉県)米山学友会主催で、「米山梅吉記念館探訪旅行」と題し、23人の学友・奨学生を含む27人が記念館を訪問しました。ほとんどの奨学生・学友にとって初めての記念館訪問で、梅吉翁の生涯、奉仕の精神に触れ、奨学生からは「米山奨学生になることができて光栄」、「平和な社会を築くために、米山梅吉のような人になりたい」といった声が多くあったとのこと。

また、2日目には東京へ戻り、サントリーホールにて「交響詩・古事記『一粒萬倍 A S E E D』五穀豊穡の物語」を観覧。「万物は一つに

つながっている」というテーマである物語を通じて、歴史の体験をしました。

同学友会副会長のグエン ビッグ フォンさん(2020-21/我孫子RC)は、「コロナ禍の影響でずっと活動が少なく、米山梅吉記念館も行ったことがなかったので、奨学生の皆さんと同じく新鮮な気持ちで参加しました。ロータリアンの方々と交流ができ、日本文化を勉強でき、新たな仲間もたくさんできました。米山奨学事業への理解、異文化理解について、より深まっただと感じています。お世話になった皆さんへの感謝の気持ちでいっぱいです」と、述べました。



ぶどう狩りを楽しむグエンさん(中央)と奨学生